

平成19年度第3回研究会のお知らせ

標記第3回研究会を下記のように第1回文化遺産のデジタルドキュメンテーションと利活用に関するワークショップ

1st Workshop on Digital Documentation of Cultural Heritage

として開催します。

- ・日時：平成19年9月7日（金曜日）
9：30～18：30
- ・場所：東京大学生産技術研究所
- ・会場：駒場キャンパス
A棟2階コンベンションホール
目黒区駒場4-6-1 Tel：03-5452-7023
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/map/index.html>
- ・参加費：無料（事前登録不要）

1.第1回文化遺産のデジタルドキュメンテーションと利活用に関するワークショップ

1st Workshop on Digital Documentation of Cultural Heritage



- 主催：動体計測研究会（ARIDA）
- 協力：奈良文化財研究所
- 後援：（社）日本測量協会、（社）日本写真測量学会、日本イコモス国内委員会
- 日時：2007年9月7日（金）（9:30～受付）
10:00～18:30
- 場所：東京大学生産技術研究所・A棟コンベンションホール（駒場リサーチキャンパス）
<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/access.html>
- 参加費：無料
- 参加者：文化遺産の記録、修復、保存および利活

用に携わる国内の研究者、実務者、行政担当者など。ワークショップに関する案内およびプログラムは下記ARIDAのHPを参照ください。

<http://www.chikatsu-lab.g.dendai.ac.jp/arida/index.html>

お願い：

今回のワークショップでは200人収容の大きな会議室を用意しました。企画の熱意を理解していただき、文化遺産の記録、修復、保存および写真測量、レーザ計測などの計測技術、さらには視覚化などを含む利活用に興味のある方に声を掛けていただき、多くの参加者が得られるようご協力の程お願いいたします。

2.懇親会（有料） 18:30-20:30

会場：コンベンションホール前ホワイエ

3.「国土技術開発賞」の最優秀賞受賞

この度 ARIDA 会員である西村正三氏および藏重裕俊氏（株）計測リサーチコンサルタント）が中心となって開発した「石垣修復支援システム - 3Dモデル配置システム」が第9回「国土技術開発賞」の最優秀賞を受賞いたしました。おめでとうございます。

「国土技術開発賞」とは、財団法人国土技術研究センターと財団法人沿岸技術研究センターが主催し、国土交通省の後援の元に行われているもので、建設産業における優れた新技術およびその開発に貢献した技術開発者を対象に表彰されている事業です。

今回の「石垣修復支援システム - 3Dモデル配置システム」は、「皇居東御苑内本丸中之門石垣の修復工事」を目的に、レーザスキャナ、写真測量等により計測されたデータをモデル化して3DCGによってコンピュータ上で石垣の修復を再現する「会話型の石積み設計支援システム」です。

この「石垣修復支援システム」は、再積み直しなどのリスクを軽減し、また経験豊富な石工の伝統技術と最先端情報技術とを融合させたもので、文化遺産を始め多くの石材建造物の修復工事等に適用が期待されます。

なお、文化財発掘調査には会員である宮塚義人さんが、またレーザ計測には同じく会員であるリーグルの松田さんが協力しています。このシステムについては9月7日の第1回文化遺産のデジタルドキュメンテーションと利活用に関するワークショップで報告される予定です。